

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-515318(P2005-515318A)

【公表日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2005-020

【出願番号】特願2003-562379(P2003-562379)

【国際特許分類】

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 6 P 3/24 (2006.01)

D 0 6 P 3/87 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

D 0 1 F 6/90 (2006.01)

【F I】

D 0 3 D 15/00 1 0 2 Z

D 0 3 D 15/00 B

D 0 3 D 15/00 D

D 0 3 D 15/00 E

D 0 6 P 3/24 Z

D 0 6 P 3/87 D

D 0 6 P 5/00 1 2 0 C

D 0 1 F 6/90 3 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月25日(2005.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カチオン染色性ナイロンポリマー糸と、酸性染色性ナイロンポリマー糸とを含んでなる、服飾品用の玉虫色の織布であって、該酸性染色性糸が、ポリマー1000キログラム当たり35グラム当量を超えるアミン末端基(AEG_{acid})を有する玉虫色の織布。

【請求項2】

服飾品用の玉虫色の織布を作製する方法であって、単一染浴に存在する少なくとも1種の酸性染料と少なくとも1種のカチオン染料とを有する単一染浴内で、カチオン染色性ナイロンポリマー糸と酸性染色性ナイロンポリマー糸とを含んでなる織布を染色することを含んでなり、該酸性染色性糸が、ポリマー1000キログラム当たり35グラム当量を超えるアミン末端基(AEG_{acid})を有する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

専門家の委員会が衣服の外観を主観的に評価した。衣服の布地前面は、かなり均一な赤褐色であった。衣服布地の裏は、鮮やかな光沢のある糸が覆いかぶされ、ピンクの陰影と

虹のように変化する青色の光沢のある閃光を伴い、全体的に暗紫色であった。

本発明の好適な実施の態様は次のとおりである。

1. カチオン染色性ナイロンポリマー糸と、酸性染色性ナイロンポリマー糸とを含んでなる、服飾品用の玉虫色の織布であって、該酸性染色性糸が、ポリマー1000キログラム当り35グラム当量を超えるアミン末端基 ($AE G_{acid}$) を有する玉虫色の織布。

2. 該カチオン染色性ナイロンポリマー糸が、ポリマー1000キログラム当り少なくとも15グラム当量のスルホネート基 (S_{cat}) 濃度と、ポリマー1000キログラム当り40グラム当量以下のアミン末端基 ($AE G_{cat}$) 濃度とを有する上記1に記載の玉虫色の織布。

3. 該カチオン染色性ナイロンポリマー糸が、複数個のスルホネート末端基 (S_{cat}) と複数個のアミン末端基 ($AE G_{cat}$) とを含んでなり、スルホネート末端基 (S_{cat}) とアミン末端基 ($AE G_{cat}$) 間の濃度差 ($r h o$) は、以下の式に従う上記1に記載の玉虫色の織布。

$$r h o = S_{cat} - A E G_{cat} \geq 0$$

4. カチオン染色性または酸性染色性ナイロン糸のいずれか一方が、0～約0.1重量%以下の二酸化チタンを含んでなる上記1に記載の玉虫色の織布。

5. 0～約0.1重量%以下の二酸化チタンを含んでなる該カチオン染色性または酸性染色性ナイロン糸が、3葉断面形状を有する複数個の異形断面フィラメントを含んでなる上記4に記載の玉虫色の織布。

6. 0～約0.1重量%以下の二酸化チタンを含んでなる該カチオン染色性または酸性染色性ナイロン糸が、ディアボロ断面形状を有する複数個のフィラメントを含んでなる上記4に記載の玉虫色の織布。

7. 0～約0.1重量%以下の二酸化チタンを含んでなるナイロン糸が、カチオン染色性糸を含んでなる上記5に記載の玉虫色の織布。

8. 酸性染色性ナイロンが、環状断面形状を有する複数個のフィラメントを含んでなる上記7に記載の玉虫色の織布。

9. 服飾品用の玉虫色の織布を作製する方法であって、単一染浴に存在する少なくとも1種の酸性染料と少なくとも1種のカチオン染料とを有する単一染浴内で、カチオン染色性ナイロンポリマー糸と酸性染色性ナイロンポリマー糸とを含んでなる織布を染色することを含んでなり、該酸性染色性糸が、ポリマー1000キログラム当り35グラム当量を超えるアミン末端基 ($AE G_{acid}$) を有する方法。